

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 アブソリューション・エイト	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.570	△RG 0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：アブソリューション・エイト

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

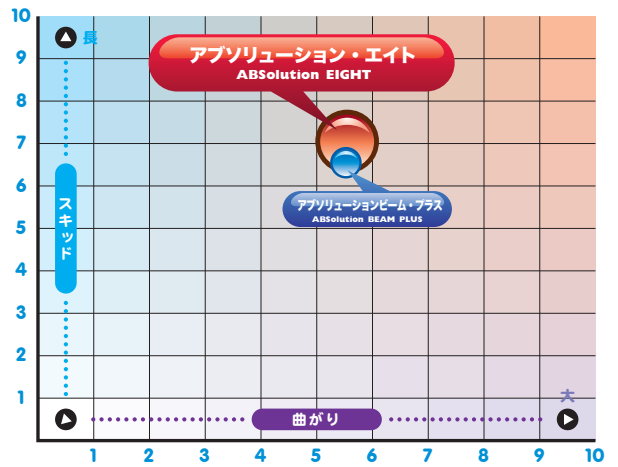
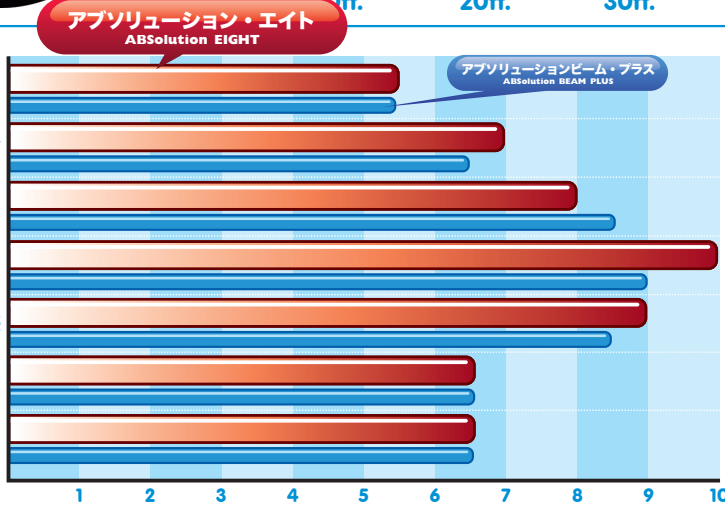
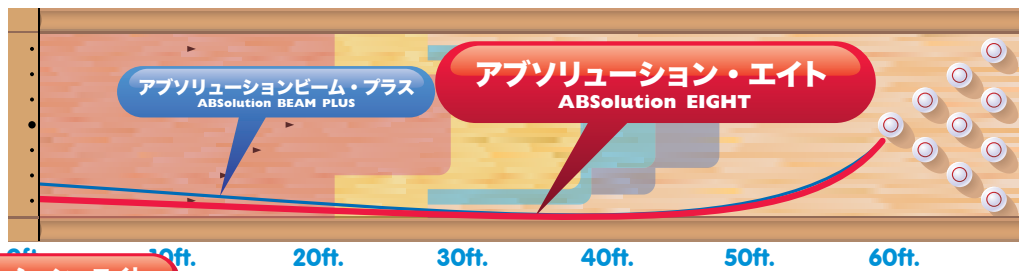
比較対照ボール：アブソリューションビーム・プラス

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

ABSが国産を軸として行ってきた重量級の8ポンドコア。ナノデスシリーズに採用したナノデス エイトでは、8ポンドコアを持つ物理特性の直進力とナノタンカバーストックとの融合が今までのナノデスシリーズにはなかった新たなパフォーマンスを生み出しました。ピュアライズ 74D エイトでは、国産の上質なキャッチ系ウレタンに8ポンドコアを搭載したことで今までのウレタンボールよりもピンに負けない押すパワーを加えられ、各社発売されているウレタンボールの中でもハッキリと差別化できました。アブソリューション エイトは、国産リアクティブを使い8ポンドコアを搭載することで、ナノデスシリーズよりもスキッドを軽くさせ、やや少ないオイルまで使用範囲を広げられるように位置づけられたミディアムからミディアムライトに一番効果を発揮するボールとして開発されました。アブソリューション エイトを発売する理由は、もちろんすべての領域における「8ポンドコア構築」ではありません。ミディアムから上の領域は多くのボールが発売されしごを削っていますが、それらのボールを使用した次のボールチェンジで高性能・高品質、高スコアを狙えるボールが少ないのが現状です。そこでアブソリューション エイトを使用することで、質の良いスキッドと8ポンドコアのもつ重量級の重いピンキャリアが皆さんのスコアメイクを手助けしてくれるはず、と販売に至りました。今までのリサーチによると、パフォーマンスがミディアム以下になるとキャッチが弱くなると同時にピンキャリアも悪くなるという傾向が多く、特にピンキャリアの良いものを選ぶと選択肢が限られるという意見が大半でした。しかし、その分野では8ポンドコアを持つ物理エネルギーと国産独自の衝撃吸収コアシステムが特に薄めまでのピンキャリアをサポートし、この領域では1・2を争うピンキャリアを実現できているところは国産ならではのこだわりの部分です。

特記事項

オイルが薄くなっても十分なスキッドが確保でき、特に薄めのピンキャリアがミキシング能力を含め群を抜いていて、後半戦までピンキャリア勝負に持ち込めるボールです。